

2016年10月19日

第3号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

新潟県労連よりFAXニュース

～米山新知事をかこんで～



写真中央 当選した米山・新新潟県知事
17日 県労連会議

16日投開票の新潟県知事選挙は、歴史的な勝利をおさめました。翌17日午前、早速、当選したばかりの米山隆一新知事が、新潟県労連・新潟に新しいリーダーを誕生させる労働者の会の事務所に選挙中のお礼に訪れました。居合わせた佐藤県労連議長、今井事務局長、水落書記、広瀬公務公共一般書記長、栗田私学労働者の会事務局長らとしっかりと握手を交わしました。全員米山氏の健闘を心からたたえるとともにあらたな前進を誓い合いました。

この勝利は、新潟にとどまらず、全国の野党と市民の共闘の発展を促し、日本の政治の前途に大きな希望をもたらす歴史的な勝利です。新潟県労連・新潟に新しいリーダーを誕生させる労働者の会は、野党と市民のみなさんとともに、米山新知事を支え、米山新県政を発展させるために、その一翼を

になって奮闘する決意です。連日奮闘されたすべての労働者・労働組合のみなさんに心から敬意を表します。ご奮闘、本当にご苦労様でした。

全労連、関ブロのみなさん！ 関ブロ内の都県労連のみなさん！ 全国のみなさん！ ご支援本当にありがとうございました。【新潟県労連発行 16 県知事ニュース第 9 号】

東京新聞「沖縄統一署名」を大きく掲載！

10月19日付の東京新聞朝刊にて「沖縄統一署名」についての記事が掲載されました。以下に記事を紹介いたします。

安全保障関連法の廃止を求める市民団体「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が今月から、沖縄県での米軍基地・施設建設の撤回を求める署名活動を全国で始めた。安保法も沖縄の基地問題も、憲法の平和主義や民意をないがしろにしている点で同根であり、日本全体で支援しなければならないという問題意識だ。

実行委は「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」など三組織の集合体。それぞれ構成団体は異なるが、「総がかり」として連携して動いている。他の市民団体と協力して安保法廃止を求める署名を全国で集め、これまでに約千五百八十万筆に達した。

沖縄で、政府は名護市辺野古（へのこ）で米軍新基地建設計画を推進し、東村高江周辺でヘリコプター離着陸帯（ヘリパッド）建設工事を始めた。実行委は「沖縄県民だけの戦いにはいけない」と、新たな署名活動を始めた。

署名は「沖縄県民の民意尊重と、基地の押し付け撤回を求める全国統一署名」と名付け、沖縄の市民団体などとも協力して実施。辺野古の新基地建設とヘリパッド建設工事中の中止、日米地位協定の抜本改定などを求めている。来年の通常国会の会期中、安倍晋三首相と衆参両院議長に第一回集約分の提出を目指す。

実行委メンバーは「沖縄県民の民意は国政選挙や知事選ではっきり示されており、建設強行は許されない。沖縄にこそ今、憲法が生かされなければならない」と署名を呼びかけている。

実行委は十九日午後六時半から、安保法廃止を訴える毎月定例の街頭行動を、衆院第二議員会館前で行う予定。【東京新聞 2016年10月19日朝刊】